



令和7年度

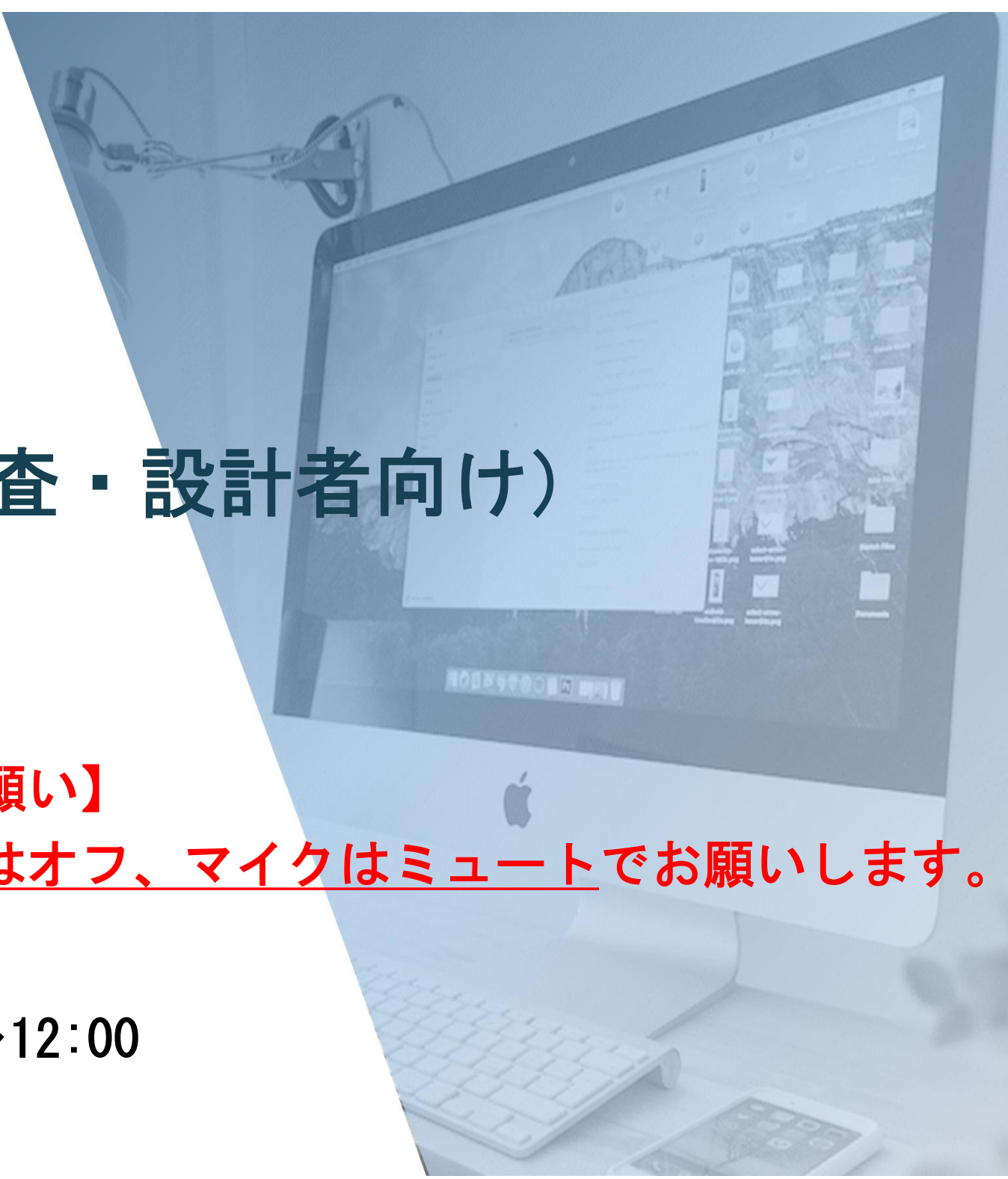
NETIS説明会（調査・設計者向け）

【参加者のみなさまへのお願い】

参加される際は、カメラはオフ、マイクはミュートでお願いします。

2025. 6. 20（金） 11:00～12:00

九州地方整備局



本日の内容

1. はじめに
2. 新技術活用スキームの概要
3. 設計業務等におけるNETIS掲載技術の検討及び活用
4. その他

参考資料

1. NETIS情報の検索と閲覧
2. 活用効果調査表等の作成
3. 九州地整管内の活用件数の多い技術
(工種分類：CALS関連技術, 調査試験)

1. はじめに

2

この説明会は、調査・設計者の方で、初めてNETISを利用される方を想定し、資料を作成しています。

詳細はNETISに掲載されているマニュアルや九州技術事務所HPをご確認ください。

NETIS（新技術情報提供システム）

<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS>

国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所

<https://www.qsr.mlit.go.jp/kyugi/>



本日のポイント

- ◆設計時における比較案の提案・評価・検討の際は、
従来技術だけでなくNETIS掲載技術も含めて検討してください。
- ◆詳細設計における工法等の選定の際は、工種によっては、
工法比較表データベースを用いた効率的な選定が可能です。
※データベースは設計業務の際に貸与します。
- ◆業務（調査・測量等）においても、業務の効率化のため
NETIS掲載技術の積極的な活用をお願いします。
※活用の際には、活用調査表等の登録をお願いします。

本日の内容

1. はじめに
2. 新技術活用スキームの概要
3. 設計業務等におけるNETIS掲載技術の検討及び活用
4. その他

参考資料

1. NETIS情報の検索と閲覧
2. 活用効果調査表等の作成
3. 九州地整管内の活用件数の多い技術
(工種分類：CALS関連技術, 調査試験)

公共工事における**新技術**とは

公共工事の課題である、コスト・工程の縮減や、品質・安全の確保、環境の保全などを解決するための優れた技術。

公共工事に関する**優れた技術**は

公共工事等の品質の確保に貢献し、良質な社会資本の整備を通じて、

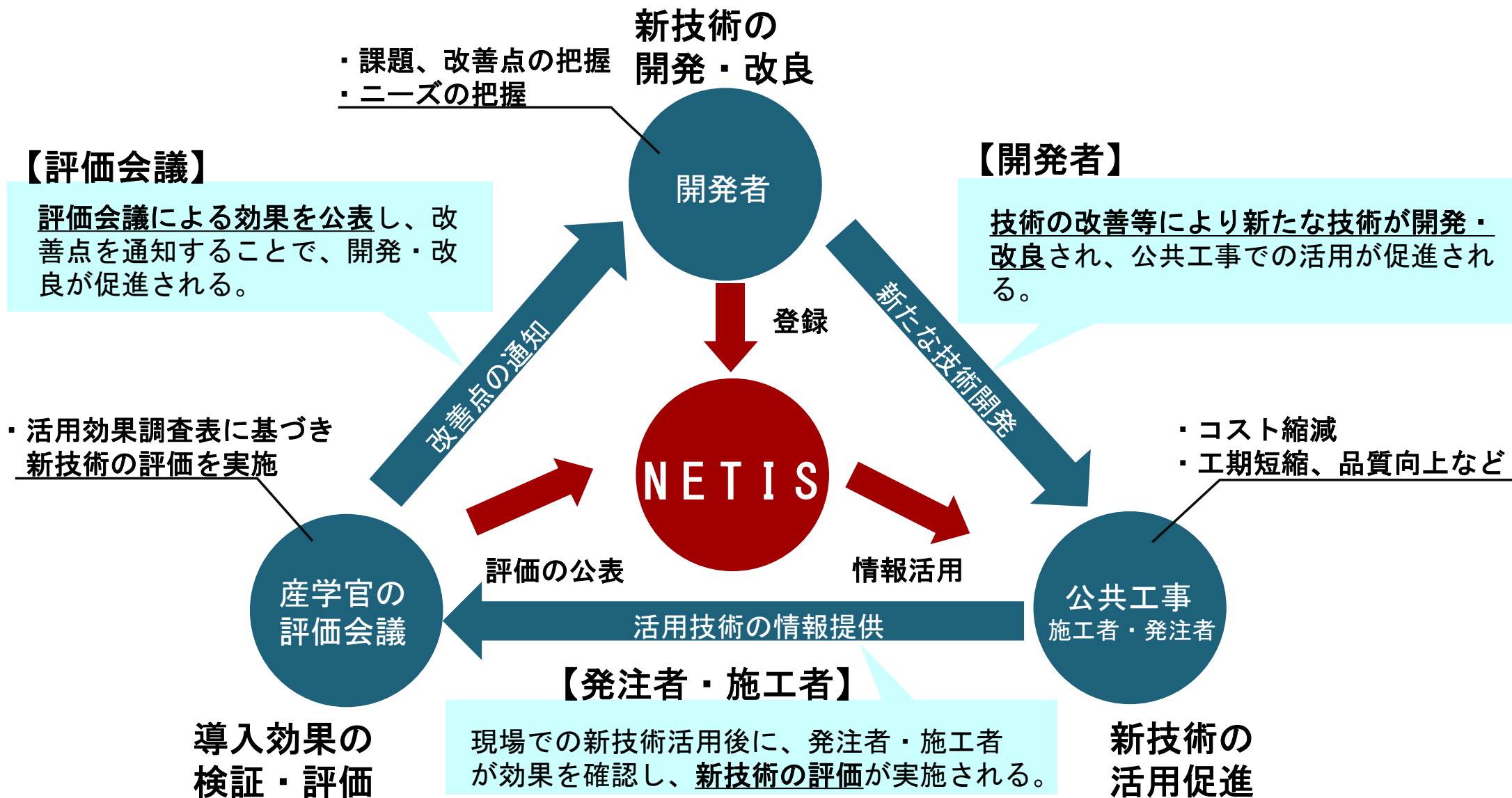
- 豊かな国民生活の実現およびその安全の確保
- 環境の保全と良好な環境の創出
- 自立的で個性豊かな地域社会の形成等に寄与するものです。

優れた技術を**持続的に創出していくためには**

民間事業者等により開発された有用な新技術を公共工事等において積極的に活用していくことが重要です。

この目的を達成する仕組みが「**新技術活用スキーム**」です

民間事業者等により開発された有用な新技術を**公共工事等において積極的に活用**していくためのものです。



NETIS (New Technology Information System) : 新技術情報提供システム

- NETISは、公共工事等で活用する新技術をまとめたデータベースです。
- 国土交通省が新技術に関わる情報を一般に提供し、新技術の活用を促進する目的で運用しています。
- 平成10年よりシステムが構築され、平成13年度よりインターネットで一般に公開、平成18年度より本格運用を開始し、数回の改定を経て今のシステムになっています。
- 公共工事や業務で活用できる様々な技術（工法・材料・機械・製品・システム等）が掲載されています。（R7.4月現在 3700件）

NETIS掲載技術の活用にあたっては、十分な検討が必要です。

採用前に当該工事に求める要件や性能が満足するか、技術開発者に確認してください。

また、評価情報も参考にしてください。

申請情報は、証明・認証情報ではありません。

NETISの掲載情報は、当該技術に関する証明、認定その他技術の裏付けを行うものではなく、あくまでも利用者が、新技術活用に当たっての参考情報（カタログ）です。

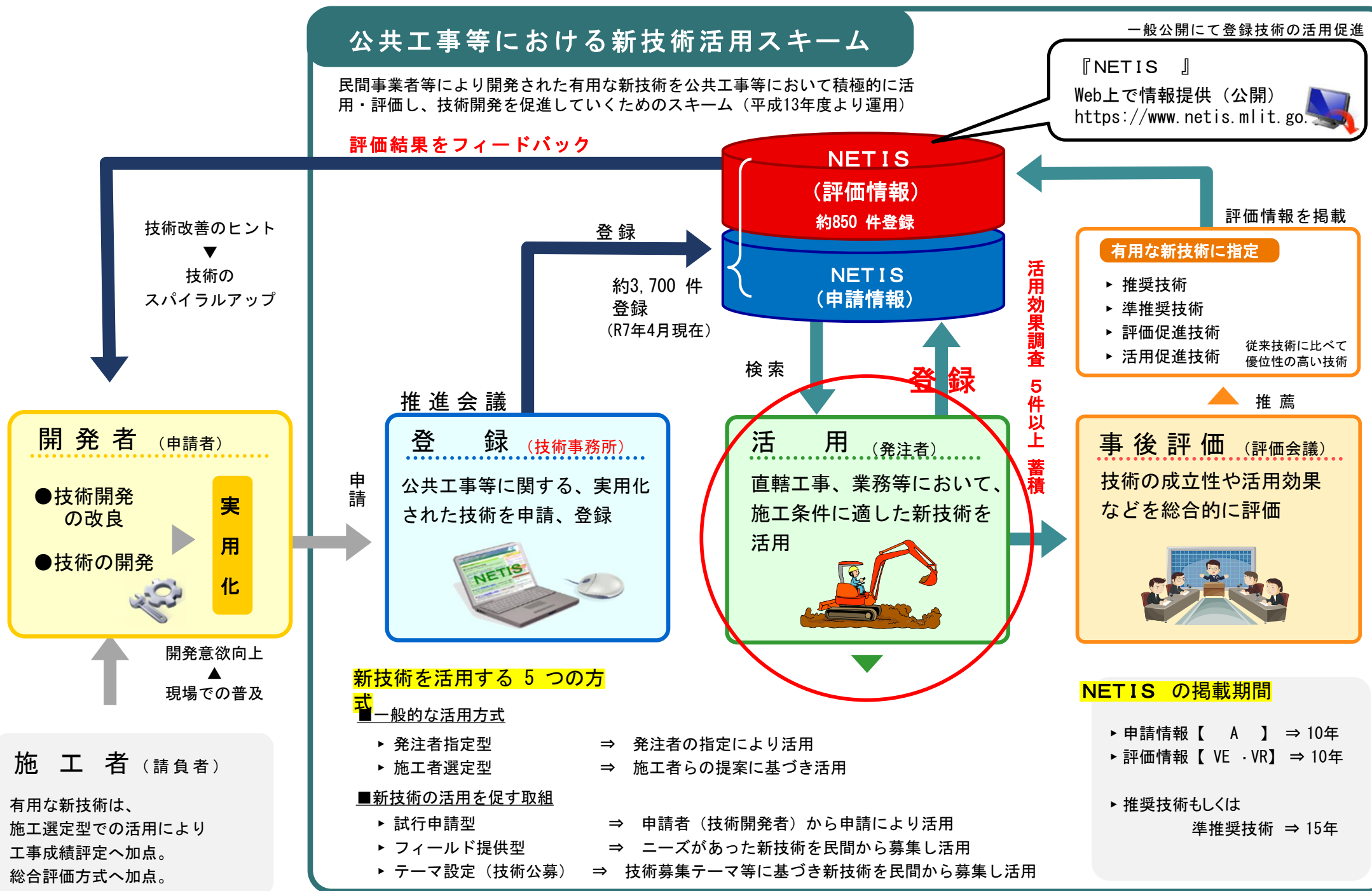
申請情報は、技術開発者の申請に基づく情報です。

評価情報は、現場条件で評価が変わる可能性があります。

新技術の活用は、現場毎の条件と適合性等により効果も異なってきます。評価情報を参考にして、活用現場条件に応じて設計・検討が必要です。

新技術データベース『NETIS』の登録から事後評価までの流れ

9



新技術活用スキームにおける『新技術』の定義

技術の成立性が技術を開発した民間事業者等により、実験等の方法で確認されており、**実用化**している公共工事等に関する技術であって、当該技術の適用範囲において、**従来技術に比べ活用の効果が同程度以上**の技術又は、同程度以上と見込まれる技術。

技術の成立性	論理的な根拠があり、技術的な事項に係る性能・機能等が、当該技術の目的や国が定める基準等を満足すること
実用化	利用者の求めに応じて、当該技術を提供可能な状態にあるもの
従来技術	公共工事において、標準的に使用される技術等
従来技術に比べ 活用効果が同程度以上	技術的事項及び経済性の事項のうち、一部の事項は従来技術より優れているかまたは劣っているが、総合的な効果では従来技術と同一の度合いであると判定すること

公共工事等に関する優れた技術は、良質な社会資本整備の促進に寄与します。

新技術の活用によって、発注者、施工者、開発者に以下の効果が期待されます。

発注者

- コスト縮減を踏まえた
工事発注、調査設計業務発注
- 事業のスピードアップ
- 適切な品質確保
- 維持管理の効率化など

施工者

- 工事効率化等による工期短縮
- 適切な管理による品質確保
- 省エネルギー、省資源化
- 総合評価方式、工事成績評定の
加点対象など

開発者

- 開発技術の活用・評価
- 工事における活用機会増加
- 技術開発のスパイラルアップなど

NETIS掲載技術は、**登録番号**によって管理されています。**どのエリアでどの時期に登録された技術**なのか、**その技術がどの状況**にあるのかがわかります。

登録当初は全て「A」であり、活用した実績により事後評価を行い、その結果によって「VR」「VE」となります。NETISに登録されている新技術は、登録番号によって管理されています。

QS — 25 0001 — A

登録地整
の記号

登録年度
(西暦)

年度毎の
登録番号

情報種別
記号

HK	:	北海道	HOKKAIDOU
TH	:	東北	
HR	:	北陸	
KT	:	関東	
CB	:	中部	
KK	:	近畿	
CG	:	中国	
SK	:	四国	
QS	:	九州	QYUSHU
OK	:	沖縄	

A : 未評価の技術（評価情報が未掲載の技術）

VR : 評価の結果、継続調査等の対象とする技術

VE : 評価の結果、継続調査等の対象としない技術

Aは、application（申請）

VRは、value re（再評価）

VEは、value end（評価終了）

3桁目に「K」がついているものは、
「港湾NETIS」の登録技術 例：QSK、KTK

直轄工事ではNETISに登録された新技術は、下記の5つの活用型式で活用されますが、特に活用の多い「活用の型」は、『**発注者指定型**』と『**施工者選定型**』になります。

■一般的な活用方式

- ▶ **発注者指定型**⇒ 発注者の指定により活用
- ▶ **施工者選定型**⇒ 施工者らの提案に基づき活用

■新技術の活用を促す取組

- ▶ 試行申請型 ⇒ 申請者（技術開発者）から申請により活用
- ▶ フィールド提供型 ⇒ ニーズがあった新技術を民間から募集し活用
- ▶ テーマ設定（技術公募）⇒ 技術募集テーマ等に基づき新技術を民間から募集し活用

発注者指定型

現場ニーズなどにより、必要となる新技術を設計段階で検討し、**発注者が指定して**活用するタイプ

【活用例】 施工の主体となる技術が多く活用されています。

- ・ 地盤改良工
- ・ ボックスカルバート工
- ・ グランドアンカー工
- ・ 河川護岸工
- ・ 橋梁耐震補強工
- ・ 機械設備
- ・ 橋梁補修補強工 など

施工者選定型

施工者（受注者）からの提案に基づき、工事内容に適した新技術を選定して活用するタイプ

【活用例】

- ・ UAV等による3次元測量
- ・ 仮設ハウス
- ・ 仮設トイレ
- ・ 情報共有システム
- ・ ICT建設機械
- ・ 安全灯、照明灯
- ・ 工事看板
- ・ コンクリートの品質向上技術 など

令和6年度 九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術（発注者指定型）15

「発注者指定型」として活用された新技術 BEST3

番号	NETIS登録番号	技術名	副題	工種	有用な技術 (令和7年4月現在)	活用効果評価結果					
						経済性	工程	品質	安全性	施工性	環境
1	QS-150009-VE	MaxBox+（マックスボックス プラス）工法	PC鋼材の緊張力により接合する「PC圧着工法」を採用した多分割式プレキャストボックスカルバートで多連式カルバートにも適用できる工法	共通工	活用促進	C	A	A	C	B	B
2	CB-170003-VE	サビバリヤー	鋼構造物全般の塗替時に、工程短縮や長寿命化が可能になる下塗り塗装システム	道路維持修繕工	活用促進	B	B	B	B	B	B
2	QS-180049-A	ゴム劣化取替工法	橋梁用ジョイント伸縮ゴム材撤去後、樹脂材で補修する工法	橋梁上部工		事後評価未実施技術					
2	QS-190028-VE	リフレッシュジョイント工法(REJ工法)	狭小部で施工可能な研削材回収型プラストシステムによる橋梁伸縮装置止水部の補修工法	橋梁上部工	R7準推奨 活用促進	D	B	B	C	B	B
2	KK-180012-VE	ウォーターカッター	橋梁桁端部後付け水切り材	道路維持修繕工		D	C	B	C	C	C
2	QS-220011-A	ICT施工対応の水陸両用ブルドーザー工法	陸上機械では届かない水深7mまで浚渫可能、流速2mまで施工可能、急な増水による退避も迅速、軽微な仮設、機械はリモコン操作で安全施工、マシンガイダンス施工で高効率、施工履歴データにより面的に施工管理	河川海岸		事後評価未実施技術					
3	QS-180012-VE	エポコラムTaf工法(地中障害物混在地盤対応地盤改良工法)	地中障害物混在地盤においても施工可能な地盤改良工法	共通工	[活用促進]	B	A	B	B	B	C
3	QS-220020-A	山留め式擁壁「CSWR工法」	狭隘部にも適用できる河川護岸兼用の山留め式擁壁	共通工		事後評価未実施技術					

凡例	A	従来技術より きわめて優れる	B	従来技術より優れる	C	従来技術と同等	D	従来技術より劣る
----	---	-------------------	---	-----------	---	---------	---	----------

本日の内容

1. はじめに
2. 新技術活用スキームの概要
3. 設計業務等におけるNETIS掲載技術の検討及び活用
4. その他

参考資料

1. NETIS情報の検索と閲覧
2. 活用効果調査表等の作成
3. 九州地整管内の活用件数の多い技術
(工種分類：CALS関連技術, 調査試験)

設計

工事
発注

工事

NETIS技術の活用

有用な技術を積極的に活用するために、

■概略設計・予備設計では、主要構造物等の比較検討にNETIS掲載技術を含めて検討する。

■詳細設計では、工法等の選定にNETIS掲載技術を含めて検討する。

【NETIS掲載技術を含めた検討イメージ】

○ 概略設計・予備設計（擁壁工を検討する場合）

道路の拡幅における構造物を検討する際に、1～5の標準的な擁壁に加え、現場条件に適合する擁壁をNETIS掲載技術より抽出し、この中から3案を選定に絞り比較検討を行う。

1. 逆T式擁壁
2. モタレ式擁壁
3. 井桁組擁壁
4. 大型ブロック積
5. 補強土壁
6. 山留め式擁壁【NETIS】

3案の比較検討

- 逆T式擁壁
- 補強土壁【NETIS】
- 山留め式擁壁【NETIS】

決定

補強土壁

○ 詳細設計（擁壁検討）

工法比較検討支援

「補強土壁」について従来技術とNETIS掲載技術等の比較検討を行い、NETIS掲載技術（工法）を選定。

○ 工事発注

歩掛作成支援

詳細設計でNETIS掲載技術が選定された場合は「発注者指定型」により工事発注。

○ 工事実施（業務実施）

活用調査表等の作成

工事実施前（業務実施前）に、計画書を作成しNETISに登録。

（A・VRは活用調査表、実施報告書を作成）

業務共通仕様書に新技術活用について明記されており、
新技術やNETIS掲載終了技術を比較検討するよう規定されています。

土木設計業務等共通仕様書 第1209条 設計業務の条件（抜粋）



12. 受注者は、概略設計又は予備設計における比較案の提案、評価及び検討をする場合には、**従来技術に加えて、新技術情報提供システム（NETIS）等**を利用し、有用な新技術・新工法を積極的に活用するための検討を行うものとする。なお、従来技術の検討においては、**NETIS掲載期間終了技術**についても、技術の優位性や活用状況を考慮して**検討の対象に含める**こととする。

また、受注者は、詳細設計における工法等の選定においては、従来技術（**NETIS掲載期間終了技術を含む**）に加えて、新技術情報提供システム（NETIS）等を利用し、有用な新技術・新工法を積極的に活用するための検討を行い、調査職員と協議のうえ、採用する工法等を決定した後に設計を行うものとする。

土木工事設計要領 第Ⅰ編共通編

（6）設計積算 1）工法の検討（ii）新技術の検討（抜粋）

概略設計又は予備設計における工法等の比較においては、従来技術（NET I S 掲載期間終了技術を含む）に加えて、新技術情報提供システム（NET I S）等を利用し、有用な新技術・新工法を積極的に活用するための検討を行うこととする。また、詳細設計における工法等の選定においては、調査職員と協議の上、工法等を決定するものとする。

なお、テーマ設定型（技術公募）の検証等の結果についても、新技術の検討において積極的に活用すること。

業務（調査・測量等）において、新技術を活用した場合も、活用調査表等の登録が必要です。



業務（調査・測量等）において新技術を活用する場合

測量業務共通仕様書	第141条	新技術の活用について
地質・土質調査業共通仕様書	第141条	新技術の活用について
土木設計業務等共通仕様書	第1140条	新技術の活用について

活用前 : **新技術活用計画書**

活用後 : **実施報告書・活用効果調査表**

の登録が必要

（※ただし、「-VE」技術については、新技術活用計画書の登録のみ）

NETISを活用した工法の比較検討においては、以下の課題があるため、NETIS登録技術の抽出が十分に行われておらず、有用な新技術（発注者指定型）の活用が少ない状況です。

※発注者指定型とは、現場ニーズなどにより、必要となる新技術を設計段階で検討し、**発注者が指定して**活用するタイプとなります。

【NETISを活用した工法の比較検討（新技術の抽出）における課題】

- 複数の類似技術が登録されており、同じ工種の技術であっても比較する従来技術が統一されておらず、技術の特徴（優位性）がわかりにくい。
- NETISには多くの技術が登録されており、未活用・未評価の技術も多く、比較検討の際に、現場条件の適用性などについての開発業者への聞き取りに時間を要する。
- 評価情報は全国で活用された評価であるため、九州での技術の適用性を検討するには、必ずしも十分な情報となっていない。

「工法比較表データベース」

工法比較表データベース

新技術を活用する際、設計段階において工法比較検討を行い、採用する技術を選定します。
 しかし、特定の工法・工種において**複数の類似技術が登録されており、従来工法が統一されていないため、特徴（長所、短所）が分かりにくい**等が原因で現場での活用が進んでいません。
 そこで、「工法比較表」を作成し、工事発注事務所へ情報提供を行っています。

対象工種

※令和7年6月現在

コンクリート構造物補修工 147技術※

表面含浸工法
 断面修復工法
 ひび割れ補修工法
 表面被覆工法
 電気防食工法

軟弱地盤処理工 101技術※

機械攪拌工法
 高圧噴射攪拌工法
 表層混合処理工法
 薬液注入工法
 残土処理工法

道路舗装工 38技術※

アスファルト舗装工法
 舗装版ひび割れ補修工法

擁壁・法面工 55技術※

補強土擁壁工法
 大型ブロック積工法
 落石防止網設置工法
 落石防護柵設置工法

入手方法

工法比較表データベースを希望される方は、九州技術事務所のホームページある借用申請書類により申請。なお、本データベースは、九州地方整備局が発注する業務・工事を対象としています。

留意点

- ・一次選定をサポートするツールです。
 現場条件に基づき二次選定を実施し、採用工法を決定してください。
- ・二次選定における概算工事や施工日数等は、現場条件に合わせて調査してください。

①統一した従来技術の設定

「統一した従来技術」を設定し、類似技術を横並びに配置し、同一条件下で比較できるようにした。

②補完調査により技術情報を充実

各技術の申請者へのヒアリング等にて、統一した従来技術に基づく、施工費用・施工日数・各種試験結果・設計条件等の情報を補完し、NETIS 申請情報で不足している情報の充実を図った。

③現場の条件に合った技術を抽出

検索条件入力シートにより、容易に一次選定を抽出することを可能にした。

④総括

各技術において特徴的な情報をワーキンググループコメントとしてとりまとめた。

⑤最新情報の掲載

新規技術・削除技術の月次更新と、施工費用・施工日数の年次更新を行い、最新の情報を掲載した。

NETIS検索と工法比較表データベースについて、一次選定の作業に要する日数を比較しました。

NETIS検索活用（工期：約9日）

1. 現場条件の設定

2. 従来技術の選定

3. 一次選定

一次選定（作業内容）

1. キーワードの設定
2. 一次選定基準の設定
3. キーワードによるNETIS検索
4. 一次選定基準に対する評価および選定
5. キーワードによる一次選定工法の工種分類を抽出
6. 工種分類によるNETIS検索および一次選定基準に対する評価・選定
7. NETIS掲載終了技術の検索および一次選定基準に対する評価・選定
8. 一次選定工法の集計
9. 一次選定工法の一覧表の作成

9日

データベース活用（工期：約1日）

1. 現場条件の設定

2. 一次選定データベース検索

一次選定（作業内容）

1. 一次選定工法の一覧表の作成

1日

工期短縮

8日程度の作業工程の短縮が可能

工法比較表データベースを活用することで、補完情報のヒアリング調査作業や回答待機時間を削減することができます。

工法比較表データベースは、一次選定をサポートするツールです。工法の条件検索の機能があり、技術毎の施工費、施工日数及び各種試験データ等を調査し、工法選定に必要な情報を補完しています。

① 検索条件の設定（現場の仕様、要件、現場条件の整理）

- ① 対象技術： 深層混合処理工 スラリー（セメントミルク）攪拌
- ② 対処箇所： 砂質土（最大N値10）、施工ヤードは狭隘（小型ベースマシンの使用）
- ③ 目的： 改良杭（単軸、改良径φ1200mm、改良深度15.5m）434本



② 「工法比較表検索条件入力シート＜一次選定サポート用＞」 に該当する条件を選択

工法比較表の出力

本工法比較表にて
該当条件抽出
（一次選定サポート）

③ 工法比較表出力結果を検討（現場毎の要件の重み付けやその他の要素を考慮した比較表を作成） ＜重み付けの例＞

- ① 基準類の規格値に対する効果の度合
- ② 技術特性 [例] 耐久性、施工性、施工方式等)
- ③ 経済性
- ④ 工程

等

設計業務にて
工法選定
（二次選定）



④ 最終的な工法を選定

工法比較表データベースの検索条件イメージ

設定した現場条件にて、工法比較表データベースの検索条件入力シートの「キーワード」にチェックを入れると、現場条件に適応した効果的な検索が可能です。

深層混合処理工(機械攪拌工法)工法比較表検索条件入力シート(一次選定サポート用)

ver.5.63

本システムは、毎月NETIS情報を確認し、追加があれば更新していきますので、最新版を入手してお使いください。

現場条件

施工機械

いずれか選択

- ☒ 特に指定しない
 ☐ 陸上施工
 ☐ 水上施工※
※水上施工を選択した場合、「発注者ニーズの適応性」以外の選択は無効となります。

いずれか選択

- ☐ 特に指定しない
 ☒ 単軸
 ☐ 二軸以上

発注者ニーズへの適応性

改良径 ϕ (mm)

土質

いずれか選択

- ☐ 従来技術と比較して優れている技術
※下記にチェックを入れたすべての項目が「優れている」の場合
☒ 従来技術と比較して同等以上の技術
※下記にチェックを入れたすべての項目が「同等以上」の場合

いずれか選択

- ☐ 特に指定しない
☒ $\phi \leq 1200$
☐ $\phi > 1200$

いずれか選択

- ☐ 粘性土
☒ 砂質土

複数選択可

※チェックを入れたすべての項目に該当する技術を検索します。

- ☐ 周辺地盤への変位抑制
☐ 騒音・振動の低減
☐ 粉塵等の飛散防止
☐ リサイクル性の向上
☒ 狭隘な現場での施工性
☐ 軟弱地盤上での施工性(トラフカビリティ)
☐ 省人化・省力化

改良長 L (m)

いずれか選択

- ☐ $0 < L \leq 10$
☒ $10 < L$

九州のフィールドへの適応性 (九州地方整備局管内での実績)

いずれか選択

- ☒ 特に指定しない
☐ 有
☐ 無

【調査するキーワード】

- ▶現場条件
- ▶施工機械
- ▶発注者ニーズへの適応性
- ▶改良径 ϕ (mm)
- ▶改良長 L (m)
- ▶土質
- ▶九州のフィールドへの適応性

現場条件に適応したキーワードに
チェックマーク

【キーワード抽出事例】

- ▶現場条件：特に指定しない
- ▶施工機械：単軸
- ▶発注者ニーズへの適応性：
 - 従来と比較して同等以上の技術
 - 狭隘な現場での施工性
- ▶改良径 ϕ ： $\phi \leq 1200$
- ▶改良長 L： $10 < L$
- ▶土質：砂質土
- ▶九州のフィールドへの適応性：
 - 特に指定しない

検索結果：全27技術177仕様の内、12技術12仕様が検索されました。

令和6年3月現在

検索結果を表示する(簡易版)

検索結果を表示する(詳細版)

工法比較表データベースは、一次選定サポートするツールであり、工法の条件検索機能を備えています。

技術ごとの施工費、施工日数及び各種試験データ等を調査し、工法選定に必要な情報を補完しています。

検索結果（詳細版）

No.	技術名	技術種別	適用範囲	技術概要	施工費	施工日数	各種試験データ	技術評価	技術情報
1	技術A	基礎工	基礎工	技術概要A	1000000	100	試験データA	評価A	技術情報A
2	技術B	基礎工	基礎工	技術概要B	2000000	200	試験データB	評価B	技術情報B
3	技術C	基礎工	基礎工	技術概要C	3000000	300	試験データC	評価C	技術情報C
4	技術D	基礎工	基礎工	技術概要D	4000000	400	試験データD	評価D	技術情報D
5	技術E	基礎工	基礎工	技術概要E	5000000	500	試験データE	評価E	技術情報E
6	技術F	基礎工	基礎工	技術概要F	6000000	600	試験データF	評価F	技術情報F
7	技術G	基礎工	基礎工	技術概要G	7000000	700	試験データG	評価G	技術情報G
8	技術H	基礎工	基礎工	技術概要H	8000000	800	試験データH	評価H	技術情報H
9	技術I	基礎工	基礎工	技術概要I	9000000	900	試験データI	評価I	技術情報I
10	技術J	基礎工	基礎工	技術概要J	10000000	1000	試験データJ	評価J	技術情報J
11	技術K	基礎工	基礎工	技術概要K	11000000	1100	試験データK	評価K	技術情報K
12	技術L	基礎工	基礎工	技術概要L	12000000	1200	試験データL	評価L	技術情報L
13	技術M	基礎工	基礎工	技術概要M	13000000	1300	試験データM	評価M	技術情報M
14	技術N	基礎工	基礎工	技術概要N	14000000	1400	試験データN	評価N	技術情報N
15	技術O	基礎工	基礎工	技術概要O	15000000	1500	試験データO	評価O	技術情報O
16	技術P	基礎工	基礎工	技術概要P	16000000	1600	試験データP	評価P	技術情報P
17	技術Q	基礎工	基礎工	技術概要Q	17000000	1700	試験データQ	評価Q	技術情報Q
18	技術R	基礎工	基礎工	技術概要R	18000000	1800	試験データR	評価R	技術情報R
19	技術S	基礎工	基礎工	技術概要S	19000000	1900	試験データS	評価S	技術情報S
20	技術T	基礎工	基礎工	技術概要T	20000000	2000	試験データT	評価T	技術情報T
21	技術U	基礎工	基礎工	技術概要U	21000000	2100	試験データU	評価U	技術情報U
22	技術V	基礎工	基礎工	技術概要V	22000000	2200	試験データV	評価V	技術情報V
23	技術W	基礎工	基礎工	技術概要W	23000000	2300	試験データW	評価W	技術情報W
24	技術X	基礎工	基礎工	技術概要X	24000000	2400	試験データX	評価X	技術情報X
25	技術Y	基礎工	基礎工	技術概要Y	25000000	2500	試験データY	評価Y	技術情報Y
26	技術Z	基礎工	基礎工	技術概要Z	26000000	2600	試験データZ	評価Z	技術情報Z
27	技術AA	基礎工	基礎工	技術概要AA	27000000	2700	試験データAA	評価AA	技術情報AA
28	技術AB	基礎工	基礎工	技術概要AB	28000000	2800	試験データAB	評価AB	技術情報AB
29	技術AC	基礎工	基礎工	技術概要AC	29000000	2900	試験データAC	評価AC	技術情報AC
30	技術AD	基礎工	基礎工	技術概要AD	30000000	3000	試験データAD	評価AD	技術情報AD
31	技術AE	基礎工	基礎工	技術概要AE	31000000	3100	試験データAE	評価AE	技術情報AE
32	技術AF	基礎工	基礎工	技術概要AF	32000000	3200	試験データAF	評価AF	技術情報AF
33	技術AG	基礎工	基礎工	技術概要AG	33000000	3300	試験データAG	評価AG	技術情報AG
34	技術AH	基礎工	基礎工	技術概要AH	34000000	3400	試験データAH	評価AH	技術情報AH
35	技術AI	基礎工	基礎工	技術概要AI	35000000	3500	試験データAI	評価AI	技術情報AI
36	技術AJ	基礎工	基礎工	技術概要AJ	36000000	3600	試験データAJ	評価AJ	技術情報AJ
37	技術AK	基礎工	基礎工	技術概要AK	37000000	3700	試験データAK	評価AK	技術情報AK
38	技術AL	基礎工	基礎工	技術概要AL	38000000	3800	試験データAL	評価AL	技術情報AL
39	技術AM	基礎工	基礎工	技術概要AM	39000000	3900	試験データAM	評価AM	技術情報AM
40	技術AN	基礎工	基礎工	技術概要AN	40000000	4000	試験データAN	評価AN	技術情報AN
41	技術AO	基礎工	基礎工	技術概要AO	41000000	4100	試験データAO	評価AO	技術情報AO
42	技術AP	基礎工	基礎工	技術概要AP	42000000	4200	試験データAP	評価AP	技術情報AP
43	技術AQ	基礎工	基礎工	技術概要AQ	43000000	4300	試験データAQ	評価AQ	技術情報AQ
44	技術AR	基礎工	基礎工	技術概要AR	44000000	4400	試験データAR	評価AR	技術情報AR
45	技術AS	基礎工	基礎工	技術概要AS	45000000	4500	試験データAS	評価AS	技術情報AS
46	技術AT	基礎工	基礎工	技術概要AT	46000000	4600	試験データAT	評価AT	技術情報AT
47	技術AU	基礎工	基礎工	技術概要AU	47000000	4700	試験データAU	評価AU	技術情報AU
48	技術AV	基礎工	基礎工	技術概要AV	48000000	4800	試験データAV	評価AV	技術情報AV
49	技術AW	基礎工	基礎工	技術概要AW	49000000	4900	試験データAW	評価AW	技術情報AW
50	技術AX	基礎工	基礎工	技術概要AX	50000000	5000	試験データAX	評価AX	技術情報AX
51	技術AY	基礎工	基礎工	技術概要AY	51000000	5100	試験データAY	評価AY	技術情報AY
52	技術AZ	基礎工	基礎工	技術概要AZ	52000000	5200	試験データAZ	評価AZ	技術情報AZ
53	技術BA	基礎工	基礎工	技術概要BA	53000000	5300	試験データBA	評価BA	技術情報BA
54	技術BB	基礎工	基礎工	技術概要BB	54000000	5400	試験データBB	評価BB	技術情報BB
55	技術BC	基礎工	基礎工	技術概要BC	55000000	5500	試験データBC	評価BC	技術情報BC
56	技術BD	基礎工	基礎工	技術概要BD	56000000	5600	試験データBD	評価BD	技術情報BD
57	技術BE	基礎工	基礎工	技術概要BE	57000000	5700	試験データBE	評価BE	技術情報BE
58	技術BF	基礎工	基礎工	技術概要BF	58000000	5800	試験データBF	評価BF	技術情報BF
59	技術BG	基礎工	基礎工	技術概要BG	59000000	5900	試験データBG	評価BG	技術情報BG
60	技術BH	基礎工	基礎工	技術概要BH	60000000	6000	試験データBH	評価BH	技術情報BH
61	技術BI	基礎工	基礎工	技術概要BI	61000000	6100	試験データBI	評価BI	技術情報BI
62	技術BJ	基礎工	基礎工	技術概要BJ	62000000	6200	試験データBJ	評価BJ	技術情報BJ
63	技術BK	基礎工	基礎工	技術概要BK	63000000	6300	試験データBK	評価BK	技術情報BK
64	技術BL	基礎工	基礎工	技術概要BL	64000000	6400	試験データBL	評価BL	技術情報BL
65	技術BM	基礎工	基礎工	技術概要BM	65000000	6500	試験データBM	評価BM	技術情報BM
66	技術BN	基礎工	基礎工	技術概要BN	66000000	6600	試験データBN	評価BN	技術情報BN
67	技術BO	基礎工	基礎工	技術概要BO	67000000	6700	試験データBO	評価BO	技術情報BO
68	技術BP	基礎工	基礎工	技術概要BP	68000000	6800	試験データBP	評価BP	技術情報BP
69	技術BQ	基礎工	基礎工	技術概要BQ	69000000	6900	試験データBQ	評価BQ	技術情報BQ
70	技術BR	基礎工	基礎工	技術概要BR	70000000	7000	試験データBR	評価BR	技術情報BR
71	技術BS	基礎工	基礎工	技術概要BS	71000000	7100	試験データBS	評価BS	技術情報BS
72	技術BT	基礎工	基礎工	技術概要BT	72000000	7200	試験データBT	評価BT	技術情報BT
73	技術BU	基礎工	基礎工	技術概要BU	73000000	7300	試験データBU	評価BU	技術情報BU
74	技術BV	基礎工	基礎工	技術概要BV	74000000	7400	試験データBV	評価BV	技術情報BV
75	技術BW	基礎工	基礎工	技術概要BW	75000000	7500	試験データBW	評価BW	技術情報BW
76	技術BX	基礎工	基礎工	技術概要BX	76000000	7600	試験データBX	評価BX	技術情報BX
77	技術BY	基礎工	基礎工	技術概要BY	77000000	7700	試験データBY	評価BY	技術情報BY
78	技術BZ	基礎工	基礎工	技術概要BZ	78000000	7800	試験データBZ	評価BZ	技術情報BZ
79	技術CA	基礎工	基礎工	技術概要CA	79000000	7900	試験データCA	評価CA	技術情報CA
80	技術CB	基礎工	基礎工	技術概要CB	80000000	8000	試験データCB	評価CB	技術情報CB
81	技術CC	基礎工	基礎工	技術概要CC	81000000	8100	試験データCC	評価CC	技術情報CC
82	技術CD	基礎工	基礎工	技術概要CD	82000000	8200	試験データCD	評価CD	技術情報CD
83	技術CE	基礎工	基礎工	技術概要CE	83000000	8300	試験データCE	評価CE	技術情報CE
84	技術CF	基礎工	基礎工	技術概要CF	84000000	8400	試験データCF	評価CF	技術情報CF
85	技術CG	基礎工	基礎工	技術概要CG	85000000	8500	試験データCG	評価CG	技術情報CG
86	技術CH	基礎工	基礎工	技術概要CH	86000000	8600	試験データCH	評価CH	技術情報CH
87	技術CI	基礎工	基礎工	技術概要CI	87000000	8700	試験データCI	評価CI	技術情報CI
88	技術CJ	基礎工	基礎工	技術概要CJ	88000000	8800	試験データCJ	評価CJ	技術情報CJ
89	技術CK	基礎工	基礎工	技術概要CK	89000000	8900	試験データCK	評価CK	技術情報CK
90	技術CL	基礎工	基礎工	技術概要CL	90000000	9000	試験データCL	評価CL	技術情報CL
91	技術CM	基礎工	基礎工	技術概要CM	91000000	9100	試験データCM	評価CM	技術情報CM
92	技術CN	基礎工	基礎工	技術概要CN	92000000	9200	試験データCN	評価CN	技術情報CN
93	技術CO	基礎工	基礎工	技術概要CO	93000000	9300	試験データCO	評価CO	技術情報CO
94	技術CP	基礎工	基礎工	技術概要CP	94000000	9400	試験データCP	評価CP	技術情報CP
95	技術CQ	基礎工	基礎工	技術概要CQ	95000000	9500	試験データCQ	評価CQ	技術情報CQ
96	技術CR	基礎工	基礎工	技術概要CR	96000000	9600	試験データCR	評価CR	技術情報CR
97	技術CS	基礎工	基礎工	技術概要CS	97000000	9700	試験データCS	評価CS	技術情報CS
98	技術CT	基礎工	基礎工	技術概要CT	98000000	9800	試験データCT	評価CT	技術情報CT
99	技術CU	基礎工	基礎工	技術概要CU	99000000	9900	試験データCU	評価CU	技術情報CU
100	技術CV	基礎工	基礎工	技術概要CV	100000000	10000	試験データCV	評価CV	技術情報CV

背景色の凡例

九州の技術（事後評価未実施技術）

有用な新技術

事後評価済み技術

事後評価未実施技術

NETIS掲載期間終了技術

①~⑤

⑥~⑧

⑨～⑩

⑪~⑳

②②～②⑨

背景色の凡例

-  : 有用な新技術
 : 事後評価済み技術
 : NETIS掲載期間終了技術
 : 九州の技術（事後評価未実施技術）
 : 事後評価未実施技術

NETIS申請情報・評価情報

補完情報
(従来工法を統一、
開発者に任意に問い合わせた情報等)

ワーキンググループからのコメント (技術の特徴等について)

■NETIS申請情報

NETISの申請情報から必要な情報（技術名、登録番号、有用技術の判別など）を抜粋し、補完調査による追記しています。

技 術 名	〇〇〇〇工法	(有用な新技術)
① N E T I S 登 録 番 号	QS-210300-VE	
② 有 用 な 技 術 の 位 置 付 け	活用促進技術(2021.3.26～)	
③ 開 発 者 (本 社 が 存 在 す る 都 道 府 県)	〇〇〇〇協会	(福岡県)
④ 開 発 者 に お け る 九 州 地 方 と の 関 連 性 (九 州 登 録 九 州 本 社 : ◎ 、 九 州 外 登 録 九 州 本 社 : ○ 、 九 州 に 共 同 開 発 者 有 り : △ 、 そ の 他 : -)	◎	
⑤ 九 州 地 方 へ の 機 能 性 (九 州 地 方 に 支 店 等 を 有 す る 場 合 : ○ 、 そ の 他 : -)	-	

① NETIS登録番号

NETIS登録番号 または NETIS掲載期間終了技術

②有用な技術の位置付け

推奨技術、準推奨技術、評価促進技術、活用促進技術、
旧実施要領における設計比較対象技術、少実績優良技術

④開発者における九州地方との関連性

◎・・・登録が九州地方整備局で本社が九州地方の場合
○・・・登録が九州地方整備局以外、本社が九州地方の場合
△・・・登録の共同開発者が九州地方の場合
－・・・その他の場合

⑤九州地方への機能性

○・・・九州地方に支店有り
－・・・その他の場合

NETIS登録番号

例：QS - 200300 - VE
1) 2) 3)

1) 登録地整：

Q S：九州地整 S K：四国地整 C G：中国地整
K K：近畿地整 C B：中部地整 K T：関東地整
H R：北陸地整 T H：東北地整 H K：北海道開発局
O K：沖縄総合事務局

※「港湾NETIS」の登録技術は3桁目に「K」がついています。

2) 番号の意味：

左から2桁の番号：登録年度（例：20は2020年度登録）
左から3番目から4桁の番号：登録年度の登録順番（例：00300）

3) 情報種別：

A：申請情報のみ掲載されている技術
VR：活用効果評価を実施した技術で継続調査等の対象となった技術
VE：活用効果評価を実施した技術で継続調査等の対象としない技術
VG：掲載期間が終了した技術

■NETIS申請情報

NETISの申請情報から必要な情報（技術概要、施工情報、適用条件等）を抜粋し、補完調査による追記しています。

⑥	技	術	概	要	・本技術は、地盤改良施工において障害となる地中障害物混在地盤における地盤改良技術であり、従来は事前に先行掘削工等の補助工法による対応が必要であった。本技術の活用により、補助工法が不要となりコスト縮減・工期短縮が可能となる。
⑦	概	要	図		技術の概要
⑧	施工条件・適用条件等			種	スラリー攪拌工法（機械攪拌工法）
				攪拌形式	単軸施工、相対攪拌
				改良径	φ1500～2500
				改良長	標準施工深度20.0m～22.0m、継ぎ足し施工深度50.0m
				施工可能な土質	砂質土、粘性土、礫質土、転石300mm以下、残置地中障害物（既製コンクリート杭・既存改良体・コンクリートガラ・瓦礫等【バックドレーン、パーパードレーン等】）
				N値の適用範囲	砂質土、礫質土； $N \leq 50$ 、粘性土 $N \leq 20$
				作業空間	プラントヤード：120m ² ～150m ² 、組立ヤード：10m～15m×45m～50m程度
				施工管理	【低速回転（4.8回転/min）、一定速度（1m/min）で管理】
				周辺地盤等への影響	低速回転、竜巻状の攪拌翼による外周地盤への押圧の抑制

⑥：技術の特徴を簡潔に概説

⑧主にNETIS情報より抜粋

補完情報…必要に応じて【 】を付けて追記（任意に問い合わせた情報等）

⑦：技術の概要を示す図表を掲載

NETIS情報を修正…【 】内に加えて「NETIS情報を修正：～」を追記

■NETIS評価情報

新技術活用後に提出される調査表に基づく事後評価の結果から、九州での適用性が把握しやすいよう、九州における活用実績のみを抜粋して記載しています。

	⑨	比較する従来技術					スリー攪拌工法+先行掘削工（改良長15m、改良径φ1500）、「新技術（改良長15m、改良径φ1500）」							
評価		新技術活用評価会議各回における評価 （合計には新技術活用評価会議未評価分を含める）			事後評価					九州のみの活用実績				
					1回目	2回目	3回目	4回目	合計 (未評価分を含む)	1回目	2回目	3回目	4回目	合計 (未評価分を含む)
評価情報	⑩	評価基準 ・A：従来技術より極めて優れる 〈4.5以上〉 ・B：従来技術より優れる 〈3.5以上4.5未満〉 ・C：従来技術と同等 〈2.5以上3.5未満〉 ・D：従来技術より劣る 〈2.5未満〉 ※活用なしの技術の場合は、 NETIS申請情報における活用効果（経済性、工程）からの評価予測	経済性	平均評価〈点数〉	B〈4.33〉	-	-	-	B〈4.33〉	A〈4.60〉	-	-	-	A〈4.60〉
				コメント	・先行掘削等が不要なため、経済性に優れている。									
			工程	平均評価〈点数〉	A〈4.50〉	-	-	-	A〈4.50〉	A〈4.70〉	-	-	-	A〈4.70〉
				コメント	・先行掘削等が不要なため、工期が短縮できる。									
			品質・出来形	平均評価〈点数〉	B〈3.83〉	-	-	-	B〈3.83〉	B〈3.70〉	-	-	-	B〈3.70〉
				コメント	・相対攪拌による練り混ぜ性能の向上により、改良体の品質が向上する。									
			安全性	平均評価〈点数〉	B〈3.61〉	-	-	-	B〈3.61〉	B〈3.80〉	-	-	-	B〈3.80〉
				コメント	・先行掘削等が不要なため、重機災害の危険要因が減少する。									
			施工性	平均評価〈点数〉	B〈4.11〉	-	-	-	B〈4.11〉	B〈4.20〉	-	-	-	B〈4.20〉
				コメント	・先行掘削等が不要で、1工程で改良体の施工が可能のため、施工性に優れている。									
報告		環境	平均評価〈点数〉	C〈3.44〉	-	-	-	C〈3.44〉	B〈3.60〉	-	-	-	B〈3.60〉	
			コメント	-										
		総合評価〈点数〉	B〈3.97〉	-	-	-	B〈3.97〉	B〈4.10〉	-	-	-	B〈4.10〉		
		総合的な留意点・所見、その他コメント	-											

⑨NETIS情報で記載されている「比較する従来技術」を記載 ※工法比較表⑪以降で統一した従来技術とは相違する場合があります。

⑩NETIS情報における「⑨比較する従来技術」との比較を記載

- ・事後評価済技術：評価回数毎に平均評価（点数）を記載 ※「合計（未評価分を含む）」は最新の事後評価後の平均評価（点数）を含む
- ・事後評価未実施技術：活用効果調査表が提出されている場合も、「合計（未評価分を含む）」に平均評価（点数）を記載
※「九州のみの活用実績」には九州地方整備局管内でのみ活用された平均評価（点数）を記載
- ・総合的な留意点・所見、その他のコメント：最新の事後評価における所見、留意事項は項目ごとにコメントとして記載

■補完情報

統一した従来技術に基づき、補完調査によって得られた概算施工費用・概算施工日数、各種試験結果、現場条件への適応性などを取りまとめたものです。

※補完情報の項目は、すべての工種で統一されているわけではなく、工種ごとに必要な項目が異なるため、取りまとめの内容も工種によって異なります。

⑬統一した従来技術との6項目比較

評価を記載

※⑩評価情報の内容と異なる場合有り

- ・統一した従来技術との概算施工費用・施工日数を記載
- ・概算であり、現場条件によって再確認が必要
- ・施工費用と施工日数は同一条件で比較し、新技術で不要となる工程等を留意事項として記載

⑮本工法比較表の仕様の土質区分における

有明粘土、シラス、黒ボク・赤ボク、そうら層（泥炭）等に対する施工実績例（件数）を記述

⑯機械の運搬費用等を積算する際の参考として、機械の保有場所、機械の保有台数等を記述

補 完 資 料 等 か ら の 情 報	⑪	工 法 の 特 徴			掘削ヘットの改良と耐摩耗プレートの開発により、補助工が不要で一工種・一工程での施工により地中障害物に対応可能。						
	⑫	改 良 強 度 1000kN/ m ² に 対 す る 概 算 改 良 材 添 加 量			0.180t/m ²		0.280t/m ²				
	⑬	費 用 注1) ※⑫～⑭左側（グレー）： 従来技術、右側：新技術		共通仮設費用（組立輸送解体費用）		従来技術 4,634,000円/回				7,248,000円/回	
	⑭			施 工 費 用		従来技術合計		施工費	改良材料費	合計	標準施工規模
					21,973円/m	17,277円/m	12,681円/m	29,958円/m	4000m3以上		
	⑮	施 工 日 数			0.250日/本		0.329日/本 (改良径：φ2000、改良長：15m、土質：砂質土N=5)				
	⑯	スラリー攪拌工との 比較評価 小型機械：単軸L≤10mの場合 大型機械：単軸L>10mの場合 大型機械：二軸の場合 判定の凡例 ○：従来技術より優れる △：従来技術と同程度 －：上記以外		経 済 性		- (36.3%増)	(29,958-21,973) /21,973=36.3%		-		
				工 程		- (31.6%増)	(0.329-0.250) /0.250=31.6%		-		
				品 質 ・ 出 来 形		○	相対攪拌により混練性能が向上する。				
				安 全 性		△	従来技術と同程度。				
				施 工 性		△	従来技術と同程度。				
				環 境		△	従来技術と同程度。地中障害物はコラム内で破碎されながら一体的に混合されるため、 廃棄物の発生は抑制される。				
	⑰	九州のフィールドへの適応性		活 用 件 数		国土交通省における活用実績		地方自治体		その他	
						14件(九州で7件)		98件（九州で35件）		32件（九州で11件）	
				九州管内での活用市町村 改良長、土質条件における 九州地方整備局管内での施工実績		九州の特殊 土壌の施工 実 績 例		-			
								無			
								鹿児島 5件			
								佐賀県 1件			
								熊本県 2件			
								-			
								-			
	⑱	特 許 等		特 許 等		第4566770号「地盤改良装置及び地盤改良工法」					
						(財) 先端建設技術センター 第2704号					
	⑲	生 産 供 給 体 制（機械保有台数等）			60台						
	⑳	備 考			・材料ロス率10%						

■補完情報

発注者ニーズへの適応性に加え、技術の特徴や留意すべき点についてとりまとめたものです。

発注者ニーズへの適応性	②②	スラリー攪拌工との比較評価 小型機械：単軸L≤10mの場合 大型機械：単軸L>10mの場合 大型機械：二軸の場合 判定の凡例 ○：従来技術より優れる △：従来技術と同程度 －：上記以外	周辺地盤への変位抑制	○	攪拌作動が低速回転であり、箆状の攪拌翼で土壌を抱え込みながら施工を行うため、有害な変位の発生リスクは少ない。
	②③		騒音・振動の低減	△	従来技術と同程度。
	②④		粉塵等の飛散防止	△	従来技術と同程度。
	②⑤		リサイクル性の向上	○	地中障害物はコラム内で破碎されながら一体的に混合されるため、廃棄物の発生は抑制される。
	②⑥		狭隘な現場での施工性	△	従来技術と同程度。
	②⑦		軟弱地盤上での施工性（トラフィカビリティ）	△	従来技術と同程度。
	②⑧		省人化・省力化	○	従来技術で必要となる補助工法（先行掘削工）などが不要となる。
	②⑨	総括	・九州地方（国土交通省）での活用実績はない（補完情報より）。 ・箆状の「外翼」と、その内側を逆回転する「中翼」、さらにその内側を中翼と逆回転する「芯翼」で構成された複合相対攪拌を行い、低速回転で強制的な練り込み作用を持つ強力な三次元的な攪拌性能を有しており、均一で良好な攪拌混合が可能（補完情報より）。 ・掘削ヘッドの改良と耐摩耗プレートの開発により、補助工が不要で一工種・一工程での施工により地中障害物に対応可能（補完情報より）。 ・傾斜した岩盤層への根入れにも適用可能である（WGからのコメント）。 ・ペーパー、パック等の旧タイプのドレーン材が残置されている場合にも適用可能である（WGからのコメント）。 ・低速回転（4.8回転/min）、一定速度（1m/min）で管理しているために高トルクを出力できる（WGからのコメント）。		

②②～②⑧WGで設定した「発注者ニーズ」に対して、①以降の統一した「従来技術」との比較評価を記述

■判定の凡例 ○：従来技術より優れる △：従来技術と同程度 －：上記以外

- ・省人化：当該新技術の現場作業にあたり、技術の特性等を考慮したうえ、労務編成人員について従来技術と比較評価した結果
- ・省力化：当該新技術において、施工管理システムの導入等により、現場作業の効率化等について、従来技術と比較評価した結果

②⑨ワーキンググループコメント

技術の特徴を技術の特徴抜粋して記載。総括的な情報として活用可能

工法比較データベースをよりよく活用できるように、工法比較表に整理した内容について、施工費用の考え方や留意する点等をユーザーマニュアルにまとめています。

また、関連する工法の基礎的な内容を参考資料として取りまとめ、若手技術者等向けに技術的なサポートを行っています。なお、工法比較表データベースを貸与する際に、マニュアルを併せて添付いたします。

(マニュアルの構成例)

- ・ 位置付け
- ・ 種類と特性
- ・ 設計について
- ・ 使用材料及び構造図
- ・ 施工について
- ・ 維持管理について

例：軟弱地盤処理工（深層混合処理工）「工法比較表」ユーザーマニュアル（案）

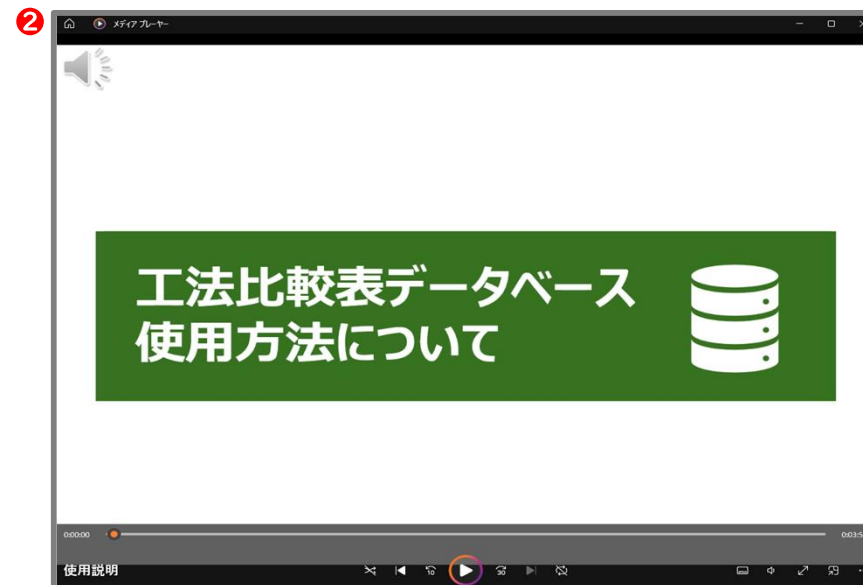
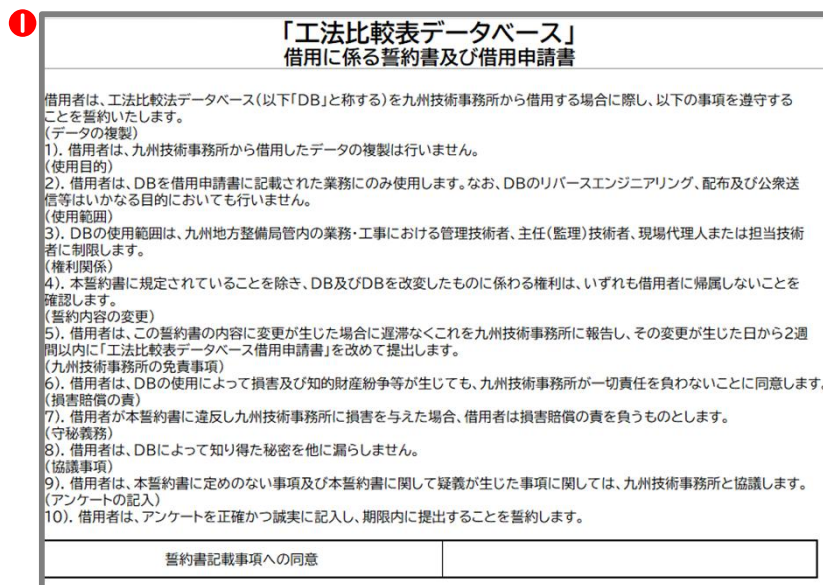


- ① 工法比較表データベースは、九州地方整備局が発注する業務・工事を対象としています。
- ② 工法比較表データベースファイルは、利用期間を設定しています。期限後は、ファイルは開きません。申請業務における追加作業が必要な場合は、問い合わせフォームより連絡ください。
- ③ 工法比較表データベースファイルは、申請業務以外に使用することはできません。
- ④ 工法比較表データベースは、施工費用・施工日数等を毎年更新していますので、最新版を活用ください。
- ⑤ データベースの機能向上及び継続のため、アンケートへの回答をお願いします。
- ⑥ 詳細の使用方法は、添付ファイルの各工種「ユーザーマニュアル」をご確認ください。
- ⑦ 工法比較表データベースは、一次選定をサポートするツールです。

現場条件に基づき詳細な検討を実施し、採用工法を決定してください。なお、概算工事、施工日数等は、現場条件に合わせて調査を行ってください。

工法比較表データベースを希望される方は、以下のリンクより申請を行ってください。

【九州技術事務所HP】 → 【新技術情報／NETIS】 → 【工法比較表データベース】
→ 【工法比較表データベース借用申請書】



エクセル様式の申請書に記載して申請先メールアドレスに送信ください。

「工法比較表データベース」 借用に係る誓約書及び借用申請書			
誓約書記載事項への同意			
業務情報	設計書番号(設計書コード)		
	業務件名		
発注者情報	発注事務所		
	ふりがな		
	調査職員:氏名		
	調査職員:E-mail		
	調査職員:電話番号		
受注者情報	ふりがな		
	業者名		
	ふりがな		
	管理技術者又は担当技術者:氏名		
	管理技術者又は担当技術者:E-mail		
工種	軟弱地盤 処理工	深層混合処理工(機械攪拌工)スラ リー方式	
		深層混合処理工(高圧噴射攪拌 工)	
		表層混合処理工(浅層・中層混合 処理工)	
		土工・残土処理工	
		薬液注入工	
		表面含浸工	
	コンクリー ト構造物補 修工	断面修復工	
		ひび割れ補修工	
		表面被覆工	
		電気防食工	
	道路舗装	アスファルト舗装工(「舗装版ひび 割れ補修工」含む)	
	擁壁・法面 工	補強土擁壁工(テールアルメ工、連 続長繊維補強土)	
		石・ブロック積(張)工(大型ブロッ ク)	
		落石防止網(ロックネット)・落石防 護柵(ストーンガード)設置工	
	その他	他にご要望やご記入事項がございましたら、 ご入力ください。	

記入例		
設計書番号(設計書コード)	2024000000000000	
業務件名	令和6年度XXXXX道路管理測量構造物設計業務	
発注事務所	筑後川河川事務所	
ふりがな	きゅうしゅう たろう	
調査職員:氏名	九州 太郎	
調査職員:E-mail	kyuusyu@fukuoka.go.jp	
調査職員:電話番号	092-XXX-XXXX	
ふりがな	かぶしきがいにしやきゅうしゅう	
業者名	株式会社九州	
ふりがな	ふくおか はなこ	
管理技術者又は担当技術者:氏名	福岡 花子	
管理技術者又は担当技術者:E-mail	fukuoka@fukuoka.or.jp	
管理技術者又は担当技術者:電話番号	092-XXX-XXXX	
軟弱地盤 処理工	深層混合処理工(機械攪拌工)スラ リー方式	借用希望
	深層混合処理工(高圧噴射攪拌 工)	借用希望
	表層混合処理工(浅層・中層混合 処理工)	借用希望
	土工・残土処理工	借用希望
	薬液注入工	借用希望
	表面含浸工	
	断面修復工	

エクセルファイルを保存の上、メール返信ください。	
申請先メールアドレス	kouhouhikakuhyou-db@kyugikyo.or.jp
【借用申請についての問い合わせ先】 一般社団法人 九州建設技術管理協会 久留米業務室 E-mail: kouhouhikakuhyou-db@kyugikyo.or.jp TEL: 0942-46-3232(休日等を除く9時30分～17時まで)	
※取得した個人情報は、問合せ対応、アンケート、その他、運営に必要な範囲で利用し、同意なく、目的外の利用や第三者への提供は行いません。取得した個人情報は、個人情報に関する法令等に則り、適切に管理いたします。	

申請書に記載のメールアドレスにデータファイル（URL）を送信します。
セキュリティの観点から、パスワードを設定し別途メールにて送信します。

To: 申請者
Cc: 発注者（調査職員）, qsr-kyugi-netis@ki.mlit.go.jp
From: kouhouhikakuhyou-db@kyugikyo.or.jp
添付資料: ○○○.ZIP

件名: 【工法比較表データベース】ファイルデータ送付について

○○○株式会社
○○○様

お世話になっております。
この度、「令和○年度○○○道路○○ I C 外詳細設計業務」におきまして、工法比較表ベース借用申請を受理いたしましたので、
ご依頼がありました2工法の工法比較表データベースファイルを送信致します。
工法比較表データベースファイルは下記のURLからダウンロードをお願いします。
パスワードにつきましては、セキュリティ確保のため別メールにてご案内します。
URLの有効期限: 2024年09月30日 23:59 +09:00

【貸出管理NO】（ファイル名）
2024-001
【データURL】
<https://workingfolder.fujifilm.com/share/2103468/dl/...>

また、工法比較表データベースの使用説明の動画を下記リンク先よりご視聴の上、使用されてください。

https://www.qsr.mlit.go.jp/kyugi/site_files/file/240801kouhouhikakuhyou-shiyouhouhou.mp4

何かご不明な点がございましたら、下記までメールにて問い合わせください。

九州技術事務所
工法比較表データベース窓口
（一般社団法人九州建設技術管理協会）
問い合わせ先: kouhouhikakuhyou-db@kyugikyo.or.jp

ZIPパスワード送付メール

To: 申請者
Cc: 発注者（調査職員）, qsr-kyugi-netis@ki.mlit.go.jp
From: kouhouhikakuhyou-db@kyugikyo.or.jp

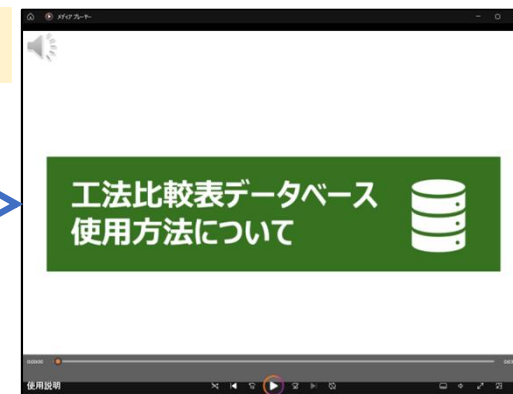
件名: ZIPパスワード（【工法比較表データベース】ファイルデータ送付について）

以下の件名のメールに添付されたファイルのパスワードを通知させていただきます。

件名: 【工法比較表データベース】ファイルデータ送付について
宛先: 申請者

添付ファイルのパスワードは以下のとおりです。
*a=]56g renc762

工法比較表データベース 使用方法の動画



本メールに工法比較表データベースの使用方法について動画リンク（動画：4分弱）を掲載しています。
ご視聴のうえ、使用してください。

工法比較表データベースは、毎月情報を更新しています。

貸し出したデータは、毎月末に自動的に利用不可となります。

翌月に引き続き利用する場合は、お問い合わせフォームより連絡いただければ、最新版を送信します。

他の業務で 사용되는場合は、再度申請を行ってください。

【問い合わせ先】
kouhouhikakuhyou-db@kyugikyo.or.jp

深層混合処理工(機械攪拌工法)工法比較表検索条件入力シート(一次選定サポート用) ver.5.67

本システムは、毎月NETIS情報を確認し、追加があれば更新していきますので、最新版を入手してお使いください。

現場条件

いずれか選択

☐ 特指定しない ☒ 陸上施工 ☐ 水上施工※
※水上施工を選択した場合、「発注者ニーズの適応性」以外の選択は無効となります。

施工機械

いずれか選択

☐ 特指定しない ☒ 単軸 ☐ 二軸以上

発注者ニーズへの適応性

いずれか選択

☐ 従来技術と比較して優れている技術
※下記にチェックを入れたすべての項目が「優れて」

☒ 従来技術と比較して同等以上の技術
※下記にチェックを入れたすべての項目が「同等以上」の場合

複数選択可

※チェックを入れたすべての項目に該当する技術を検索します。

☐ 周辺地盤への変位抑制
☐ 騒音・振動の低減
☐ 粉塵等の飛散防止
☐ リサイクル性の向上
☐ 狭小な現場での施工性
☐ 軟弱地盤上での施工性(ラフディザイナ)
☐ 省人化・省力化

改良径 φ (mm)

いずれか選択

☐ 特指定しない ☒ φ ≤ 1200 ☐ φ > 1200

土質

いずれか選択

☒ 粘性土 ☐ 砂質土

改良長

いずれか選択

☒ 0 < L ≤ 10 ☐ 10 < L

Microsoft Excel

利用期間は2024/08/01 ~ 2024/08/31 となっております。

OK

検索結果: 全27技術177仕様の内、5技術5仕様が検索されました。 令和6年7月現在

結果を表示する(詳細版)

技術を表示する

Microsoft Excel

利用期間は2024/08/01 ~ 2024/08/31 となっております。

OK

利用期間 2024/8/1 ~ 2024/8/31

アンケート 問い合わせ

工法比較表データベースの品質向上のため、アンケート調査を行っています。
より良いシステムへのバージョンアップのため、ご協力よろしくお願いします。

QRコードからも
申請可能です。



WEB アンケート (Microsoft Forms)

所要時間：約5分 ※[アンケート](#)

深層混合処理工(機械攪拌工法)工法比較表検索条件入力シート(一次選定サポート用) ver.5.67

本システムは、毎月NETIS情報を確認し、追加があれば更新してまいりますので、最新版を入手してお使いください。

現場条件

いずれか選択

☐ 特指定しない ☒ 陸上施工 ☐ 水上施工※
※水上施工を選択した場合、「発注者ニーズの適応性」以外の選択は無効となります。

施工機械

いずれか選択

☐ 特指定しない ☒ 単軸 ☐ 二軸以上

発注者ニーズへの適応性

いずれか選択

☐ 従来技術と比較して優れている技術
※下記にチェックを入れたすべての項目が優れて
☒ 従来技術と比較して同等以上の技術
※下記にチェックを入れたすべての項目が同等
以上の場合

改良径 φ (mm)

いずれか選択

☐ 特指定しない

土質

いずれか選択

☒ 粘性土

複数選択可

※チェックを入れたすべての項目に該当する技術を検索します。

☐ 周辺地盤への変位抑制
☐ 騒音・振動の低減
☐ 粉塵等の飛散防止
☐ リサイクル性の向上
☐ 狭小な現場での施工性
☐ 軟弱地盤上での施工性(ラフディレイ)
☐ 省人化・省力化

検索結果：全27技術177仕様の内、5技術5仕様が検索されました。 令和6年7月現在

[検索結果を表示する\(簡易版\)](#) [検索結果を表示する\(詳細版\)](#)

アンケートの回答をお願いします。

※すでにご回答いただいた方は、回答は不要です。閉じるをクリックください。

[アンケートはこちらから](#)

[閉じる](#)

工法比較表データベース アンケート

* 必須

日頃より新技術の普及・活用に関し、ご協力を頂きありがとうございます。

「工法比較表データベース」の今後の改良および新しい工種・工法の拡充に活かすためにアンケート調査にご協力お願いいたします。

1

貸出管理NO *

※送付しました「工法比較表データベース」に記載しています。
20から始まる番号を入力ください。例：2024-001

回答を入力してください

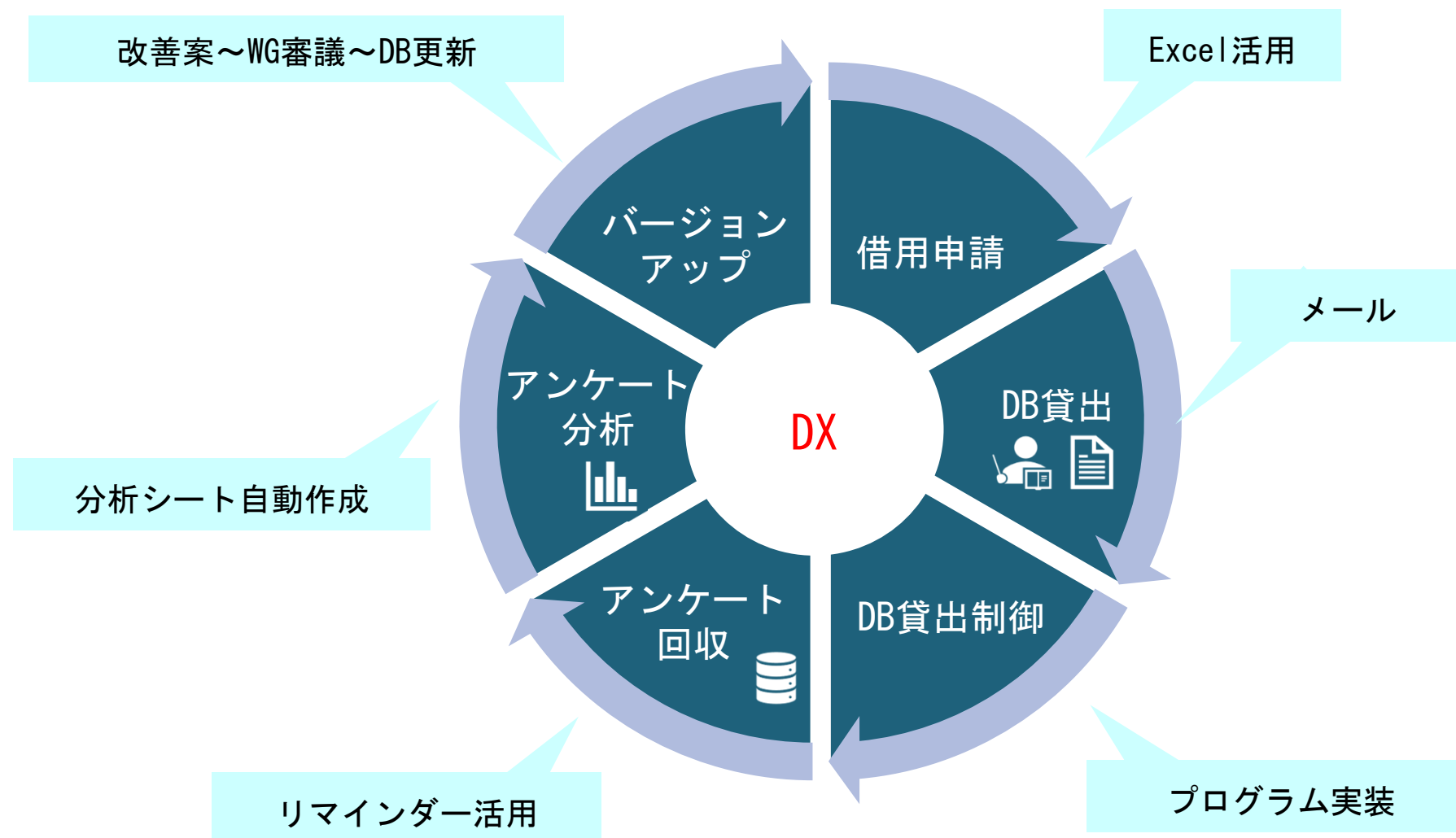
2

工法比較検討の資料作成において実際の業務で「工法比較表データベース」を活用しましたか。*

☐ はい

☐ いいえ

アンケート分析、有識者委員の意見等に基づく、フィードバックにより継続的な改善を行い、定期的にバージョンアップを実施します。



NETIS掲載期間終了技術検索システムを希望される方は、以下のリンクより申請を行ってください。

【九州技術事務所HP】 → 【新技術情報／NETIS】 → 【NETIS掲載期間終了技術検索システム】
→ 【NETIS掲載期間終了技術検索システム借用申請書】

NETIS（新技術情報提供システム）とは？

NETISは、国土交通省が運営する新技術の情報共有システムです。直轄工事や業務における新技術の活用を促進し、コスト削減や工期短縮などの効果を生み出すことを目的としています。九州技術事務所では、NETISの登録や活用調査表の作成や工法比較支援、活用促進に向けた説明会等に取り組んでいます。

NETIS新規登録/変更・更新（登録される方）

NETIS活用調査表等作成（工事、業務で活用される方）

工法比較データベース（設計業務される方）

参考資料（マニュアル等）

イベント・説明会

技術の紹介

工法比較データベースとは？

NETIS技術等から工法比較をサポートするツールとして、工法比較データベースを作成し、九州地方整備局が発注する業務・工事を対象に工法比較技術の支援を行っています。データベースの活用につきましては、借用申請書にアクセスし、必要事項を入力して送信してください。

- 工法比較データベース借用申請書
- 工法比較データベース使用方法について（内装）
- NETIS掲載期間終了技術検索システム借用申請書

工法比較データベース対象技術一覧

工法比較データベースの対象技術について

「NETIS掲載期間終了技術検索システム」借用に係る誓約書及び借用申請書

借用者は、NETIS掲載期間終了技術検索システムを九州技術事務所から借用する場合に際し、以下の事項を遵守することを誓約いたします。

（データの複製）

1). 借用者は、九州技術事務所から借用したデータの複製は行いません。

（使用目的）

2). 借用者は、NETIS掲載期間終了技術検索システムを借用申請書に記載された業務にのみ使用します。なお、NETIS掲載期間終了技術検索システムのリバースエンジニアリング、配布及び公衆送信等はいかなる目的においても行いません。

（使用範囲）

3). NETIS掲載期間終了技術検索システムの使用範囲は、九州地方整備局管内の業務・工事における管理技術者、主任（監理）技術者、現場代理人または担当技術者に制限します。

（権利関係）

4). 本誓約書に規定されていることを除き、NETIS掲載期間終了技術検索システム及びNETIS掲載期間終了技術検索システムを改変したものに係る権利は、いずれも借用者に帰属しないことを確認します。

（誓約内容の変更）

5). 借用者は、この誓約書の内容に変更が生じた場合に遅滞なくこれを九州技術事務所に報告し、その変更が生じた日から2週間以内に「NETIS掲載期間終了技術検索システム借用申請書」を改めて提出します。

（九州技術事務所の免責事項）

6). 借用者は、NETIS掲載期間終了技術検索システムの使用によって損害及び知的財産紛争等が生じても、九州技術事務所が一切責任を負わないことに同意します。

（損害賠償の責）

7). 借用者が本誓約書に違反し九州技術事務所に損害を与えた場合、借用者は損害賠償の責を負うものとします。

（守秘義務）

8). 借用者は、NETIS掲載期間終了技術検索システムによって知り得た秘密を他に漏らしません。

（協議事項）

9). 借用者は、本誓約書に定めのない事項及び本誓約書に関して疑義が生じた事項に関しては、九州技術事務所と協議します。

誓約書記載事項への同意	
業務情報	設計書番号(設計書コード)
発注者情報	業務件名
	発注事務所
	ふりがな
	調査職員:氏名
受注者情報	調査職員:E-mail
	調査職員:電話番号
	ふりがな
	業者名
その他	ふりがな
	管理技術者又は担当技術者:氏名
	管理技術者又は担当技術者:E-mail
その他	管理技術者又は担当技術者:電話番号
	他にご要望やご記入事項がございましたら、ご入力ください。

NETIS掲載期間が終了した技術の検索に特化したシステムとして構築しており、過去の技術情報を有効活用するための支援ツールとなっています。

工種はNETIS(新技術情報提供システム)の分類に準拠しており、レベル1からレベル4までの階層で絞り込み検索が可能です。さらに、キーワードによる検索にも対応しており、目的の工種を効率的に見つけることができます。

※対象となる技術は、NETIS掲載期間終了技術リストより「有用な技術」または「活用状況20件以上」とします。

検索画面

NETIS掲載期間終了技術検索システム

※対象となる技術は、NETIS掲載期間終了技術リストより「有用な技術」または「活用状況20件以上」とします

工種検索

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
共通工	深層混合処理工	固結工	高圧噴射攪拌工

キーワード検索 ※空白で区切って並べると、AND検索として、それらのキーワードがすべて含まれるページが検索されます

検索

検索結果には、該当する技術の名称、IDNETIS番号、概要などが一覧で表示されます。
技術名称をクリックすると、NETIS掲載時のPDF資料が別ウィンドウで開き、詳細な内容を確認できます。

検索		NETIS掲載期間終了技術検索システム					※対象となる技術は、NETIS掲載期間終了技術リストより「有用な技術」または「活用状況20件以上」とします。(2025.3月時点)	
NO	NETIS登録時の技術名称	IDNETIS番号	概要	副題	開発会社	実績件数		
1	Superjet(スーパージェット)工法	KK-980026-VR	①何について何をする技術なのか? ・地表から直径15cm程度の孔を開けるだけで、地中に直径3.5m(Superjet-Midi)~5m(Superjet)までの大きな固結柱状体を造成する地盤改良技術。 ②従来技術はどのような技術で対応していたのか? ・従来工法は水平一方向噴射で、しかも地盤の硬軟に影響され易いため、最大でもφ2.0mまでの改良体しか造成不可能であった。 ③公共工事のどこに適用できるのか? ・立坑の底盤改良、先行地中梁 ・シールド発進、到達防護 ・大規模な土留め欠損部 ・液状化防止 ・基礎地盤の強化、安定 ・耐震補強	超大口径改良体を瞬時に造成可能な高圧噴射攪拌工法	鹿島建設株式会社,ケミカルグラウト株式会社	21 件		
2	LDIS(エルディス)工法	KT-980135-VE	①何について何をする技術なのか? ・高圧噴射工法と機械攪拌工法を併用し、改良時に固化材混入スラリー量と同等量の原土を攪拌して、変位を抑制する高圧噴射地盤改良工法。 ②従来はどのような技術で対応していたのか? ・エアを併用した高圧噴射工法(二重管工法)で対応していた。 ③公共工事のどこに対応できるのか? 重要埋設物、構造物近接での変位防止対策を必要とする以下の目的に使用される。 ・河川改修工事に伴う河床および堤体部の改良 ・盛土及び切り土のすべり防止 ・開削工事のヒービング防止、受働土圧の増加 ・構造物の支持力強化および沈下防止 ④その他工法の特徴 ・エアを併用しないため水中施工が可能である。 ・改良時に原土を地表に排出することにより、地盤へのスラリー供給に伴う体積増加をできるだけ低減可能。					
3	X-jet(クロスジェット)工法	KT-990495-V	①何について何をする技術なのか? ・地表から直径15cmの孔を目深深度まで開けるだけで、地中に直径2.5mの固結柱状体を造成する。 ②従来技術はどのような技術で対応していたのか? ・従来は単一方向への高圧噴流の噴射方式であるため、地盤の硬軟に左右され、一定径の改良体しか造成できなかった。 ③公共工事のどこに適用できるのか? ・立坑の底盤改良、先行地中梁 ・シールド発進・到達防護工 ・中規模の土留め欠損部 ・液状化防止 ・基礎地盤の強化・安定 ・耐震補強					

新技術

NETIS掲載期間終了技術

※NETIS掲載期間終了時点のデータです

新技術概要説明情報

NETIS登録番号

KT-980135-VG

技術名称

LDIS(エルディス)工法

事後評価

事後評価済み技術 (2015/11/17 (H27/11/17))

デマ設定型比較表への掲載

無

受賞等

推薦技術候補

推薦技術

平成15年度 重点活用技術

技術審査証明技術

建設技術審査証明

事前審査・事後評価

事前審査

事後評価

活用効果評価

技術の位置付け (有用な新技術)

推薦技術

準推薦技術

評価促進技術

活用促進技術

旧実施要領における技術の位置付け

活用促進技術(旧)

設計比較対象技術

少実験優良技術

活用効果調査入力様式

-VG

活用効果調査が必要です。

適用期間等

設計比較対象技術 平成22年10月29日~平成27年11月20日 準推薦技術 平成26年6月23日~ 活用促進技術 平成27年11月20日~

上記※印の情報と以下の情報は申請者の申請に基づき掲載しております。 申請情報の最終更新年月日: 2017/04/01

概要

副題

低変位高圧噴射攪拌工法

分類1

共通工 - 深層混合処理工工 - 固結工 - 高圧噴射攪拌工

令和7年6月20日

調査・設計者向け説明会

- 設計時の工法比較検討の際にはNETIS掲載技術も対象
- 工法比較表データベースの認知度向上と活用促進
- 業務におけるNETIS技術の活用促進

令和7年7月予定

発注者向け説明会

- 新技術活用スキームの概要
- 直轄工事での活用 原則義務化
- NETIS技術の活用状況

令和7年8月予定

工法比較表データベース説明会

- 工法比較表データベースの入手方法・活用方法等

別途調査予定

設計時の工法比較検討の実態調査

- ※アンケートにより確認予定
- 設計業務の工法比較におけるNETIS技術も含めた検討の有無
- 工法比較表データベースの活用の状況
- 工法比較による最終的な選定結果（NETIS掲載技術の割合）

令和7年9月予定

工事受注者向け説明会

- NETIS情報の検索と閲覧
- 活用効果調査表等の作成

本日の内容

1. はじめに
2. 新技術活用スキームの概要
3. 設計業務等におけるNETIS掲載技術の検討及び活用
4. その他

参考資料

1. NETIS情報の検索と閲覧
2. 活用効果調査表等の作成
3. 九州地整管内の活用件数の多い技術
(工種分類：CALS関連技術, 調査試験)

新技術の活用促進に向けて、以下のような取り組みを行っています。

新技術NETIS活用支援

新技術・新工法説明会

九州7県で新技術活用システムに関する説明会を開催
R6年度：7回（10～12月開催）



新技術説明会

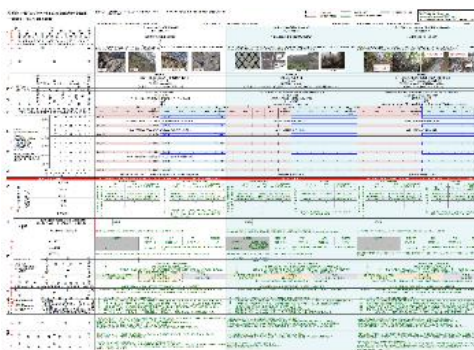
九州地方整備局の事務所の職員、施工者に対して的確な新技術活用に関する実務的な説明会を開催
R6年度：3回（7～11月開催）



工事発注支援

工法比較検討支援

発注者指定を行う工種について、NETISより新技術を抽出し、比較検討資料を作成



歩掛作成支援

発注者指定する新技術の歩掛見積を徴収し、施工歩掛を作成



技術開発相談窓口・広報

NETIS登録・申請等

開発者からの相談、NETIS登録の受付、審査、指導など



広報活動

NETIS概要のパンフレット配布、HPやSNSによる登録の発信、新技術相談の実施など



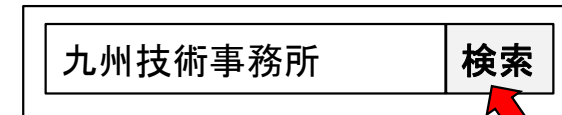
社会資本整備に寄与する新技術・新工法をより多く関係者に知っていただくことで、公共工事での新技術の活用促進を図るとともに、新たな技術開発を促進することを目的とした説明会を九州各県1回（計7回）実施しています。

令和7年度の開催日程（聴講募集は、令和7年9月上旬開始予定）

ブロック	開催地	説明会 実施日	会 場 名	開催会場	住 所	備考
佐賀	佐賀市	10月30日 (木)	アバンセ	1F【ホール】	佐賀市天神三丁目2-11	
長崎	長崎市	11月07日 (金)	長崎県庁 行政棟	1F【大会議室】	長崎市尾上町3-1	
大分	大分市	11月14日 (金)	J:COM ホルトホール大分	3F【大会議室】	大分市金池南一丁目5番1号	
熊本	熊本市	11月21日 (金)	くまもと県民交流館 パレア	10F【パレアホール】	熊本市中央区手取本町8番9号 テトリアくまもとビル	
鹿児島	鹿児島市	11月26日 (水)	鹿児島県庁	2F【講堂】	鹿児島市鴨池新町10番1号	
宮崎	宮崎市	12月04日 (木)	宮日会館	11F【宮日ホール】	宮崎市高千穂通1-1-33	
福岡	福岡市	12月10日 (水)	福岡県庁	3F【講堂】	福岡市博多区東公園7番7号	

聴講は、興味がある技術だけでも良いので、ぜひ会場に足を運んでください。

九州技術事務所HPの「新技術情報/NETIS」に新技術に関する情報を掲載しています。





NETIS

NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

新技術 の検索	登録申請書作成 試用物事調査表作成	テーマ設定型 の依頼書	マッチング	経理管理技術 ページ	異動届出・異動 支援技術ページ	マニュアル FAQ
--------------------	----------------------	----------------	-------	---------------	--------------------	--------------


図 6


印刷・プレビュー

新技術概要説明情報

2020.6.8 現在

NETIS登録名	
技術名称	定置型独立電源「グリーン」パワーステーション ^(注)
事業計画	事後評価を実施技術
受託等	建設技術委託形式
事前審査・事後評価	試行実証評価 試用物事評価
技術の位置付け (有用な新技術)	技術開発 事業開発 評価促進活動 活用促進活動
旧実施事項における 技術の位置付け	活用促進活動(初) 認知比較利用技術 少人数適用技術
活用効果測定入力様式	(A)
活用効果測定	活用効果調査が必要です。
適用期間等	

上記※印の情報と以下の情報は申請者の申請に基づき掲載しております。 申請情報の最終更新年月日：2020/05/22

概要	従来技術との相違	利点・課題点	施工方法	類似技術との優劣	詳細説明資料
----	----------	--------	------	----------	--------

副題	太陽光・風力発電により、長期環境や有事の際の非常用電源として自然エネルギーを供給できる定置型独立電源
分類 1	電気通信設備 - 電気設備 - 発電・電源設備 - 新エネルギー電源
分類 2	災害対策機械
分類 3	環境対策工 - 騒音防止対策工
分類 4	
分類 5	
区分	製品

NETISに関するお問い合わせは、下記の必要事項を記載していただき、メールにてお願いします。

問合せ件数が多いため、受付順に返信いたします。

回答まで時間が頂く場合がありますので、ご了承ください。

<九州技術事務所>

メールアドレス : qsr-kyugi-netis@ki.mlit.go.jp

<メールでの必要事項>

NETIS登録番号、技術名、工事名、発注事務所名

会社名、担当者名、連絡先

質問内容